

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生涯学習文化財課

担当名：生涯学習推進担当

内線：6920

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B63	元気な地域を創造する子ども大学推進事業			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	生涯学習推進事業費			
事業期間	平成23年度～平成28年度	根拠法令	教育基本法第3条・第13条、社会教育法第5条、生涯学習振興法第3条	戦略項目							
1 事業の概要 近年、学力調査の国際比較結果やフリーター・ニートの増加など、学習意欲や就労意欲の低い青少年の増加が社会問題となっている。また、子供を地域で育てるという仕組みや意識が薄れてきている。一方、生涯学習社会の実現に向け、学びのきっかけづくりや学んだ成果の活用が課題となっている。 そこで、子ども大学推進事業を実施することにより、子供の学ぶ力や生きる力を育むとともに地域の活性化を図る。さらに、学びの場を提供するなど課題解決を目指し、埼玉県生涯学習を推進する。 (1) 子ども大学推進事業 1,341千円 補助金が当初の見込みを下回ったことによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 子ども大学推進事業 平成26年度19校開校。 4,623千円 (ア) 開校事業 県内各地に子ども大学を開校する。 (イ) 交流・連携事業 複数の子ども大学が連携しミニ社会体験活動などを通じ交流を行う。 (2) 事業計画 ア 子供を核として県内の大学、市町村、NPOなどがネットワーク化を図り「知の循環型社会」の構築を目指す。 イ 子供を対象に、大学教授や地域のプロフェッショナルが大学のキャンパス等で、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行う。 ウ 複数の子ども大学の子供たちがミニ社会体験活動などを行い、互いに交流する機会を提供する。 (大学・地域の施設・げんきプラザ) (3) 事業効果 大学や市町村、NPOなどが連携して実施する子ども大学を展開することにより、子供の知的好奇心を刺激し、学ぶ力や生きる力を育むとともに、新たなネットワークの構築を推進することができる。 平成22年度：6校開校 255人修了 (6大学、9団体、6市町で開校。他に独自校3市町で1校。試行的に実施。) 平成23年度：14校開校 674人修了 (16大学・短大、25団体、23市町で開校。他に独自校が4市町で2校。) 平成24年度：19校開校 1,066人修了 (26大学・短大、29団体、33市町で開校。他に独自校が5市町で3校。) 平成25年度：25校開校 1,269人修了 (30大学・短大、43団体、38市町で開校。他に独自校が6市町で5校。) 平成26年度：19校開校 872人修了予定 (19大学・短大、33団体、22市町。他に自立運営校・独自校が32市町で21校。) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大学・短期大学、市町村、NPOなどが連携し実行委員会を組織し、子ども大学の企画・運営を行う。 (5) 補正予算の概要 子ども大学推進事業：補助金が当初の見込みを下回ったことによる減額。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円											
				財 源 内 訳							
予算額								一般財源	補正後の 予算額		
決定額	1,341									1,341	3,282
現計額	4,623									4,623	